

那覇港管理組合の取り組み (物流・クルーズ)



Naha Port Authority

平成27年2月

TEL : 098-868-4544

E-mail : kumiai@nahaport.jp

<http://www.nahaport.jp/>

那覇港管理組合 企画建設部 企画室

1.那覇港の全景

(陸域 約600ha 海域 約3,200ha)



2. 那覇港の取り組み ～ 物流 ～

国際流通港湾としての位置づけ

- **県内重要港湾6港**に占める**那覇港**の取扱貨物量(公共貨物)の割合は、内国貿易が**約7割**、外国貿易が**約9割**
- **那覇港と那覇空港の取扱貨物量**で、**那覇港**の占める割合は、**約97%**(2013年)
- 外貿・内貿コンテナの総取扱量は、490,944TEUであり、**我が国第8位**(2013年)
- 外貿コンテナ取扱量は、85,970TEUであり、**我が国第15位**(2013年)
- 内貿コンテナ取扱量は、404,974TEUであり、**我が国第3位**(2013年)

那覇港の航路の概要

那覇港を出入港する定期航路・不定期航路一覧

※所要時間は、那覇港発～最終港着の所要時間であり、途中寄港地での停留時間も含めております。

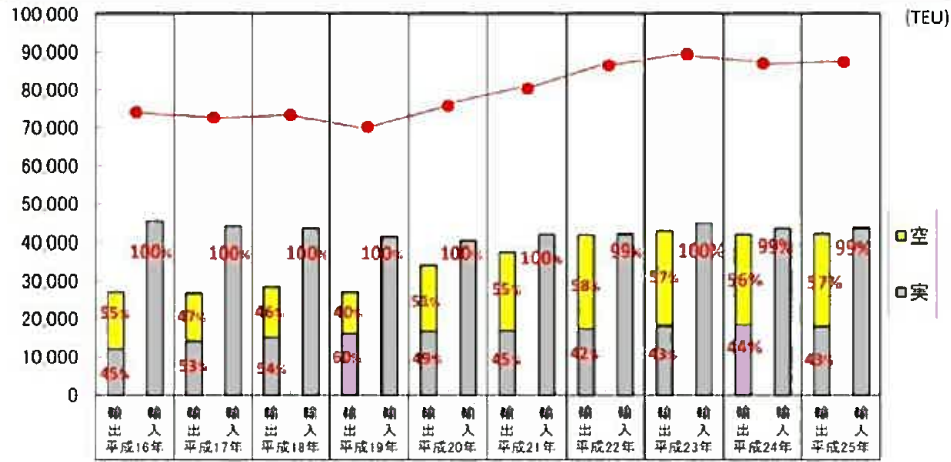
2014.11.5現在

区分	寄港地 ※赤字は最終港 ※()寄港地は不定港	船名(定期・不定期) ※赤字は旅客も対応	船種	総トン数	全長	運航回数	出港曜日一次入港曜日	船主	問い合わせ先	接岸岸壁	所要時間	
東京	那覇-与論-(名瀬)-志布志-東京-志布志-(名瀬)-与論-那覇	グルーズフェリー(船種2)	定期 フェリー	9,225	167	3/2週	火-土、日-木、木-翌週月	マルエーフェリー	098-861-1881	新港5	48H	
	那覇-大阪-東京-大阪-那覇	しやり	定期 RORO船	9,813	168	1/週	木-翌週木	近海郵船	098-862-4130	新港4	85H	
	那覇-大阪-東京-大阪-那覇	わかなづ	定期 RORO船	10,145	169	1/週	火-翌週月	環球海運	098-868-3263	新港4・5	60H	
	那覇-大阪-東京-大阪-那覇	かりゆし	定期 RORO船	9,043	154	1/週	土-翌週土	環球海運	098-868-3203	新港4・5	61H	
	那覇-(志布志)-東京-(志布志)-那覇	たからぼ	定期 RORO船	3,891	131	3/2週	火-土、土-翌週木、木-翌週月	マルエーフェリー	098-861-1881	新港5	48H	
	那覇-名古屋-豊橋-鹿児島-那覇	ふじき	不定期 自動車運搬船	11,573	165	1/4日	不定	フロントラインコーポレーション	098-861-1586	新港6・7	36H	
	那覇-大阪-那覇	りゅうせいの	定期 一般貨物船	1,596	110	1/週	月-金	鹿児島商船海陸運送	098-876-3300	浦添1・2	37・5H	
	那覇-大阪-鹿児島-那覇	りゅうせいの	定期 一般貨物船	1,124	93	1/週	木-翌週月	鹿児島商船海陸運送	098-876-3300	浦添1	37H	
	那覇-大阪-鹿児島-那覇	りゅうせいの	定期 RORO船	4,252	132	1/週	水-翌週日	鹿児島商船海陸運送	098-876-3300	浦添1	32H	
	那覇-(伊予三島)-大阪-那覇	なは2	定期 一般貨物船	1,138	93	3/2週	月-土、土-翌週木、木-翌週月	丸三海運	098-842-5260	浦添7	36H	
名古屋	那覇-名古屋-那覇	なは2	定期 一般貨物船	1,445	99	3/2週	木-翌週月、月-土、土-翌週木	丸三海運	098-842-5260	浦添7	36H	
	那覇-名古屋-那覇	林航丸	定期 一般貨物船	499	76	1/週	月-翌週月	丸三海運	098-842-5260	浦添6	61H	
	那覇-名古屋-那覇	新十五丸	不定期 一般貨物船	499	77	1/週	月-翌週日	大匠海運	098-867-4314	新港3	53H	
	那覇-(与論)-(和泊)-(龜徳)-(名瀬)-大阪-神戸-大阪-名古屋-(亀徳)-(和泊)-(与論)-那覇	琉球エキスパレス	定期 フェリー	6,266	146	3/2週	月-金、土-翌週木、木-翌週月	マルエーフェリー	098-861-1881	新港5	38H	
	那覇-高松-新原坂-豊橋-三島-名古屋-那覇	りゅうせいの	定期 一般貨物船	637	85	1/週	月-翌週月	高日本汽船	098-876-3260	浦添1・5	42・6H	
	那覇-高松-新原坂-豊橋-三島-名古屋-那覇	ちゆらしま	定期 RORO船	10,134	169	2/週	月-水、水-翌週日	環球海運	098-868-6623	新港7	24・6H	
	那覇-高松-新原坂-豊橋-三島-名古屋-那覇	しゆれい	定期 RORO船	6,562	150	1/週	水-金	環球海運	098-868-6623	新港6・7	24・6H	
	那覇-高松-新原坂-豊橋-三島-名古屋-那覇	りゅうせいの	定期 一般貨物船	1,596	110	1/週	金-水	鹿児島商船海陸運送	098-876-3300	浦添1・2	32H	
	那覇-高松-新原坂-豊橋-三島-名古屋-那覇	りゅうせいの	定期 一般貨物船	1,134	93	1/週	月-木	鹿児島商船海陸運送	098-876-3300	浦添3	27H	
	那覇-高松-新原坂-豊橋-三島-名古屋-那覇	わかなづ	定期 一般貨物船	498	76	3/2週	月-土、土-翌週木、木-翌週月	丸三海運	098-842-5260	浦添8	43H	
博多	那覇-博多-那覇	ゆいまる	定期 一般貨物船	499	76	3/2週	木-翌週月、月-土、土-翌週木	丸三海運	098-842-5260	浦添8	43H	
	那覇-鹿児島-博多-鹿児島-那覇	みやらびII	定期 RORO船	10,184	169	1/週	月-金	環球海運	098-868-6623	新港7	35H	
	那覇-鹿児島-博多-鹿児島-那覇	にらいかない	定期 RORO船	5,813	150	1/週	水-日	環球海運	098-868-6623	新港3	38H	
	那覇-鹿児島-博多-鹿児島-那覇	しゆれい	定期 RORO船	6,562	150	1/週	金-水	環球海運	098-868-6623	新港6・7	25H	
	那覇-博多-鹿児島-那覇	りゅうせいの	定期 RORO船	4,252	132	1/週	日-水	鹿児島商船海陸運送	098-876-3300	浦添1	24H	
	那覇-博多-鹿児島-那覇	りゅうせいの	定期 一般貨物船	749	98	1/週	日-木	高日本汽船	098-876-3300	浦添1・3	29H	
	那覇-鹿児島-那覇	藤山丸	定期 一般貨物船	498	76	1/週	土-翌週土	鹿児島商船海陸運送	098-876-3300	浦添2	28H	
	那覇-中津-志布志-鹿児島-那覇	りゅうせいの	定期 一般貨物船	499	77	1/週	日-翌週日	高日本汽船	098-876-3300	浦添6	28H	
	那覇-本部-与論-和泊-島根-名瀬-鹿児島-名瀬-龜徳-和泊-与論-本部-那覇	フェリー-あけほの	定期 フェリー	8,083	145	1/4日	4隻でサイクル運航(どちらかの船が毎日入港)	マルエーフェリー	098-868-7727	新港2	25・5H	
	那覇-本部-与論-和泊-島根-名瀬-鹿児島-名瀬-龜徳-和泊-与論-本部-那覇	フェリー-あけほの	定期 フェリー	6,586	146	1/4日		マルエーフェリー	098-868-7727	新港2	25・5H	
那覇-和泊-与論-本部-那覇	グリーンコーラルプラス	定期 フェリー	5,916	144	1/4日		マリックスライン	098-868-9598	新港2	25・6H		
那覇-和泊-与論-本部-那覇	グリーンコーラル8	定期 フェリー	4,945	141	1/4日		マリックスライン	098-868-9598	新港2	25H		
鹿児島	那覇-石垣-那覇	にらいかない	定期 RORO船	5,813	150	1/週	月-水	環球海運	098-868-6623	新港6	21H	
	那覇-平良-那覇	ちゆらしま	定期 RORO船	10,134	169	1/週	水-金	環球海運	098-868-6623	新港5・7	16H	
	那覇-平良-那覇	ゆいまる	定期 一般貨物	498	75	1/週	金-翌週月	環球海運	098-868-6623	新港4	26H	
	那覇-平良-(伊良部)-石垣-那覇	よね丸	定期 一般貨物船	749	96	2/週(不定)	月~金毎日出港(3隻で運航調整)	南西海運	098-868-1848	新港1	18・6H	
	那覇-平良-石垣	なんせい丸	定期 一般貨物船	749	98	2/週(不定)		南西海運	098-868-1848	新港1	18・6H	
	那覇-平良-石垣	せつ丸(※国外航路あり)	定期 一般貨物船	1,488	107	1/週		南西海運	098-868-1848	新港7	20H	
	那覇-平良-石垣	みやらびII(※国外航路あり)	定期 RORO船	10,184	169	1/週	金-月	環球海運	098-868-6623	新港7	16H	
	那覇-平良-石垣	ゆいまる	定期 一般貨物	498	75	2/週	月-水、水-金	環球海運	098-868-6623	新港4	15H	
	那覇-阿嘉-座間味-阿嘉-那覇	フェリー-まきみ	定期 フェリー	448	61	1/日	毎日	南西海運	098-868-4567	泊6	2H	
	那覇-阿嘉-座間味-阿嘉-那覇	フェリー-まきみ	定期 フェリー	188	35	2/日	毎日	南西海運	098-868-4567	泊7	1H	
周辺島嶼	那覇-座間味-那覇	フェリー-まきみ	定期 フェリー	499	67	1/日	毎日	南西海運	098-868-7541	泊5	1H	
	那覇-座間味-那覇	マリンスライナートがし	定期 高速船	123	31	2/日	毎日	南西海運	098-868-7541	泊7	35M	
	那覇-座間味-那覇	フェリー-豊田	定期 フェリー	451	65	1/日	毎日	南西海運	098-862-5553	泊3	2H	
	那覇-座間味-那覇	フェリー-豊田	定期 フェリー	1,188	84	1/日	毎日	南西海運	098-868-2886	泊2	4H	
	那覇-座間味-那覇	フェリー-豊田	定期 フェリー	679	73	1/日	毎日	南西海運	098-868-2886	泊2	4H	
	那覇-座間味-那覇	フェリー-豊田	定期 フェリー	690	84	6/日	不定期	南西海運	098-861-0515	泊1	13・5H	
	那覇-座間味-那覇	フェリー-豊田	定期 フェリー	690	84	6/日	不定期	南西海運	098-861-0515	泊1	13・5H	
	那覇-座間味-那覇	フェリー-豊田	定期 フェリー	690	84	6/日	不定期	南西海運	098-861-0515	泊1	13・5H	
	那覇-座間味-那覇	フェリー-豊田	定期 フェリー	690	84	6/日	不定期	南西海運	098-861-0515	泊1	13・5H	
	那覇-座間味-那覇	フェリー-豊田	定期 フェリー	690	84	6/日	不定期	南西海運	098-861-0515	泊1	13・5H	
国外航路	那覇-北京-上海-釜山-横濱-釜山-那覇	サンパドロー	定期 フルコン	64,502	276	1/週	木-翌週木	APL	098-861-4761	新港10	13D	
	那覇-青島-上海-釜山-横濱-釜山-那覇	サツ夫	定期 一般貨物船	1,488	107	1/週	火-月	南西海運	098-868-1848	新港7	92H	
	那覇-上海-釜山-横濱-釜山-那覇	BLUE STAR	定期 フルコン	7,411	129	1/週	日-翌週日	HASCO	098-868-6616	新港9	24H	
	那覇-上海-釜山-横濱-釜山-那覇	ダバオ<フィリピン>-那覇-(博多)-(神戸)-ダバオ<フィリピン>	PACIFIC MAGNOLIA	定期 冷凍コンテナ	9,340	137	1/2週	金-翌週金	FRESH CARRIERS	098-868-3203	新港10	72H
	那覇-上海-釜山-横濱-釜山-那覇	※先島航路の延長 那覇-平良-石垣-那覇	みやらびII	定期 RORO船	10,184	169	1/週	金-月	環球海運	098-868-6623	新港7	36H
	那覇-上海-釜山-横濱-釜山-那覇	香港-高雄-那覇-ガム-サイパン-(マジュロ)-(ノルル)-(マジュロ)-(エパイ)-(ボンベイ)-(チェウク)-(サイパン)-コロール-ジェネラルサントス-ダバオ-香港	MELI SPRINGWOOD	定期 フルコン	16,192	162	1/週	日-翌週日	MARIANA EXPRESS LINES	098-868-6088	新港9	15D
	那覇-上海-釜山-横濱-釜山-那覇	マニラ-高雄-基隆-那覇-志布志-門司-三田尻-中間-松山-広島-基隆-那覇	ACX SATSUMA	定期 フルコン	6,773	124	1/週	日-翌週日	愛媛オーシャンライン	098-868-3203	新港10	14D

内外買取扱コンテナ貨物量の推移

外貿コンテナ貨物実入・空別貨物量の推移

【課題】輸出の半分以上は空コンテナである。(片荷輸送)

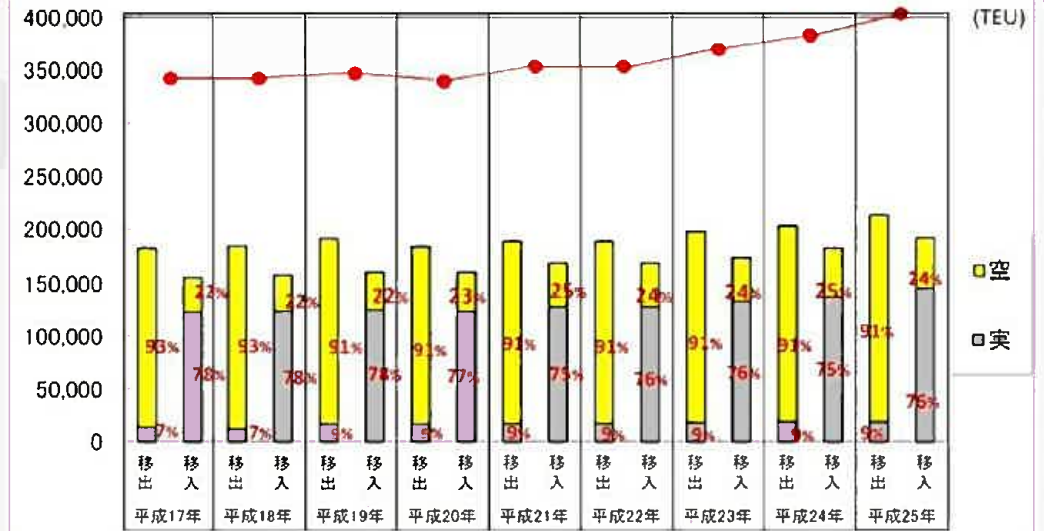


※平成21年10月にANAハブ開始

年度	移出入別	実	空	合計
平成16年	輸出	12,242	14,983	72,907
	輸入	45,682	0	
平成17年	輸出	14,243	12,607	71,043
	輸入	44,193	0	
平成18年	輸出	15,306	13,247	72,140
	輸入	43,587	0	
平成19年	輸出	16,295	10,862	68,576
	輸入	41,419	0	
平成20年	輸出	16,759	17,432	74,574
	輸入	40,383	0	
平成21年	輸出	17,020	20,712	79,797
	輸入	42,065	0	
平成22年	輸出	17,564	24,341	84,153
	輸入	42,126	122	
平成23年	輸出	18,302	24,600	87,849
	輸入	44,947	0	
平成24年	輸出	18,594	23,342	85,560
	輸入	43,521	103	
平成25年	輸出	18,115	24,097	85,970
	輸入	43,610	148	

内貿コンテナ貨物実入・空別貨物量の推移

【課題】内貿コンテナ貨物は外貿以上に片荷。



※平成21年10月にANAハブ開始

年度	移出入別	実	空	合計
平成17年	移出	13,610	168,432	337,405
	移入	122,422	32,941	
平成18年	移出	12,325	172,070	342,265
	移入	123,781	34,089	
平成19年	移出	16,669	174,491	351,857
	移入	125,164	35,533	
平成20年	移出	16,560	166,833	343,953
	移入	123,081	37,480	
平成21年	移出	17,039	171,294	357,751
	移入	127,905	41,513	
平成22年	移出	17,039	171,294	357,615
	移入	127,905	41,377	
平成23年	移出	18,063	179,781	372,085
	移入	132,608	41,633	
平成24年	移出	18,567	184,546	385,147
	移入	136,960	45,074	
平成25年	移出	18,598	194,876	404,974
	移入	146,043	45,458	

外貿貨物増大の取組（那覇港の課題解決に向けて）

社会実験による那覇港発の外貿貨物量増大の取組

ソフト事業

「那覇港輸出貨物増大促進事業」の社会実験（H25～H28）

【社会実験による貨物創出】



県内荷主等を対象とした「社会実験」により、コスト・リードタイム等を検証し、物流コストの低減や輸送システムの改善等の検討を行います。

相乗効果

ハード事業

○総合物流センター整備事業

貨物の増加
物流の効率化

○ガントリークレーン等整備事業

物流コストの低減・雇用の創出等

将来(長期) 国際物流拠点の実現、貨物の増大 物流の効率化、競争力強化

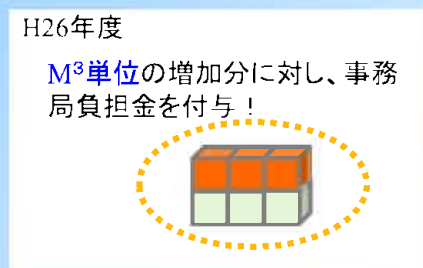
那覇港輸出貨物増大促進事業

那覇港から出荷されるアジア向けの県産品等の輸出促進を図るため、前年度を上回る実績に対し、事務局負担金(支援金)を付与します。

【コンテナ貨物】



【小口混載貨物】



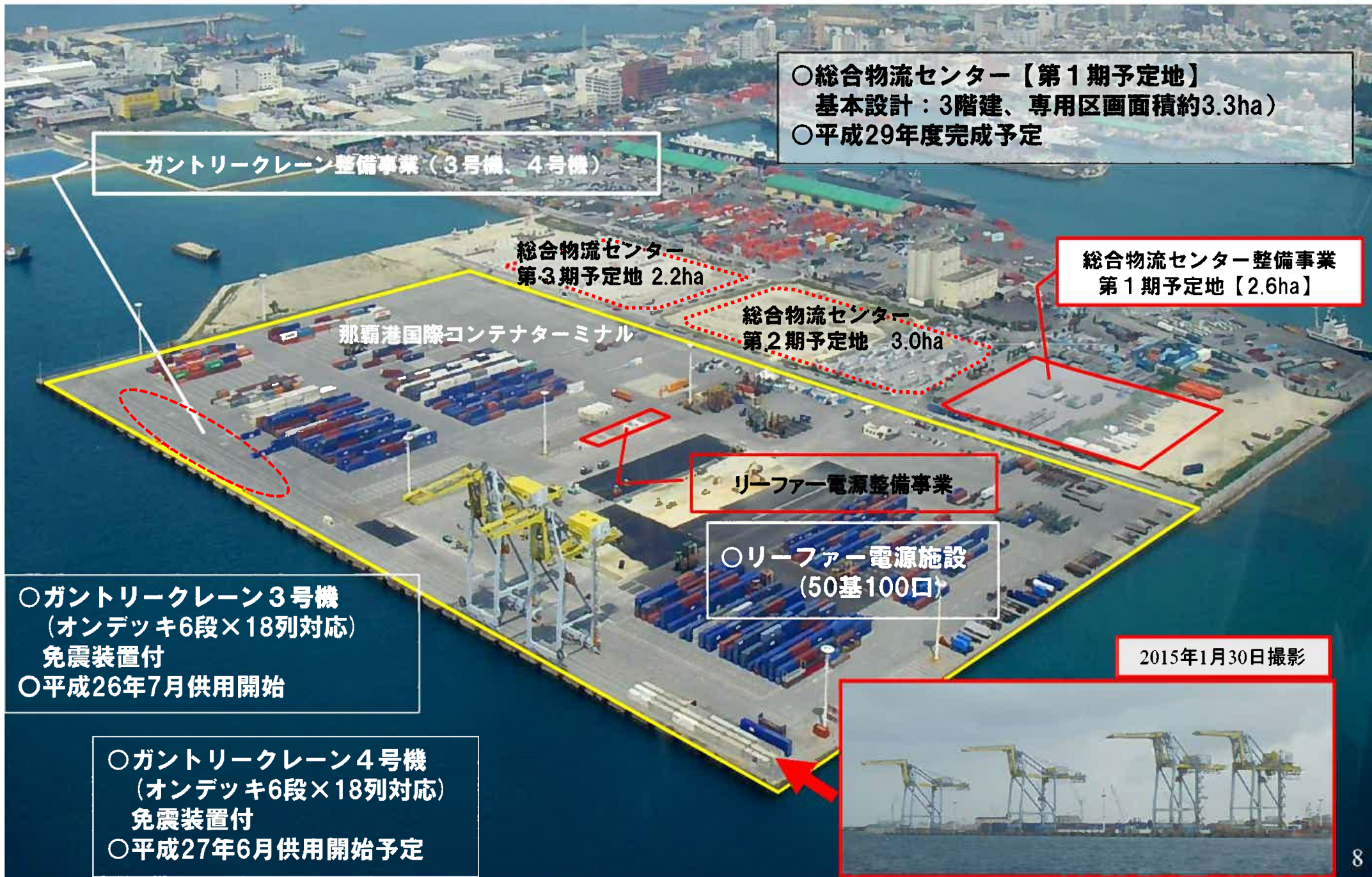
対象者	輸出荷主(県内、県外を問いません)
対象貨物	輸出コンテナ貨物(混載を含む)
参加条件	前年度を上回る輸出量があること
参加方法	参加を希望する荷主は、事前に事務局に応募し、登録を行ってください。
申請・審査	B/L等の輸出に係る証明書類(写し)を提出していただき、審査します。
アンケート調査等	参加する荷主・物流事業者の皆様には、輸出システムの改善等のためアンケート調査等へのご協力をお願いいたします。

分類	輸送のタイプ	概要	増加貨物あたりの事務局負担額	
			ドライ貨物	リーファー貨物
重点貨物	① 本土港湾経由からシフトする貨物	・昨年度まで本土港湾を経由して輸出していた貨物のうち、本年度より那覇港からの輸出に切り替えた貨物	・15,000円/20ft ・22,500円/40ft ・10,500円/10.12ft ・3,000円/M3	・75,000円/20ft ・112,500円/40ft ・52,500円/10.12ft
	② 沖縄から新規の輸出貨物	・当該荷主企業において、過去3年間に初めて輸出される貨物、又はその企業が初めて輸出する地域向けの貨物		
	③ 大量の輸出が見込める貨物	・今後、沖縄からの輸出が大量に見込める、もしくは可能性のある貨物		
	④ 太平洋諸島への輸出貨物	・那覇港から直航航路のある太平洋諸島の地域へ輸出される貨物		
	⑤ 中継輸出貨物	・本土港湾発の貨物で、那覇港で外貿航路に積み替えられ、輸出される貨物		
一般貨物	⑥ 上記①～⑤を除く輸出貨物	・当該荷主企業において、上記①～⑥を除いた輸出貨物量の総量を前年度と比較し、増加している分の貨物	・10,000円/20ft ・15,000円/40ft ・7,000円/10.12ft ・2,000円/M3	・50,000円/20ft ・75,000円/40ft ・35,000円/10.12ft
自走貨物	⑦ RORO船で輸送される自走貨物	・那覇港に寄港する定期RORO航路を利用し、輸出される自走貨物(自動車、建設機械、農業機械等)	・400円/M3	—

※「沖縄から新規の輸出貨物」「大量の輸出が見込める貨物」など、那覇港の輸出貨物増大に資する貨物については、重点貨物と位置づけております。

本事業は、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」に掲げられている「アジアと日本の架け橋となる国際物流拠点の形成」の取組みとして、「県内事業者等による海外展開や輸出拡大の促進」を具体化するものであり、社会実験を通じて、コスト、リードタイム等を検証し、物流コスト低減や輸送システムの改善等の検討を行うものです。

国際コンテナターミナルの施設整備事業の概要



那覇港総合物流センター整備

□那覇港総合物流センターの整備予定地は、那覇国際コンテナターミナルと国内貨物の取り扱い岸壁の間に位置していることから、国際物流機能の集積を促進する総合物流センターの建設に適した場所である。

□那覇港と那覇空港を結ぶ「那覇うみそらトンネル」が開通したことでアクセスが向上しており、海上貨物と航空貨物とのSea and Air、Sea or Airによる連携が進むと総合物流センターの需要は高まると予想される。



那覇港総合物流センター整備の必要性

- ・臨空・臨港型産業の集積による国内外貨物の物流拠点の形成及び国際流通港湾としての機能拡充を図るために整備が必要
- ・『国際物流拠点産業集積地域』制度を活用した付加価値型ものづくり産業の集積などの保管・流通拠点の形成等を図るために整備が必要
- ・那覇港で扱う国内外貨物の物流の効率化を図るために整備が必要



[那覇港総合物流センターのコンセプト]

東アジアの中心に位置する那覇港の特性を活かし、
東アジアネットワークと国内ネットワークを繋ぐ
物流結節拠点(クロスドックポイント)

那覇港 ロジスティクス・ハブ

東アジアの物流結節拠点(クロスドックポイント)としての機能

【国際輸送】

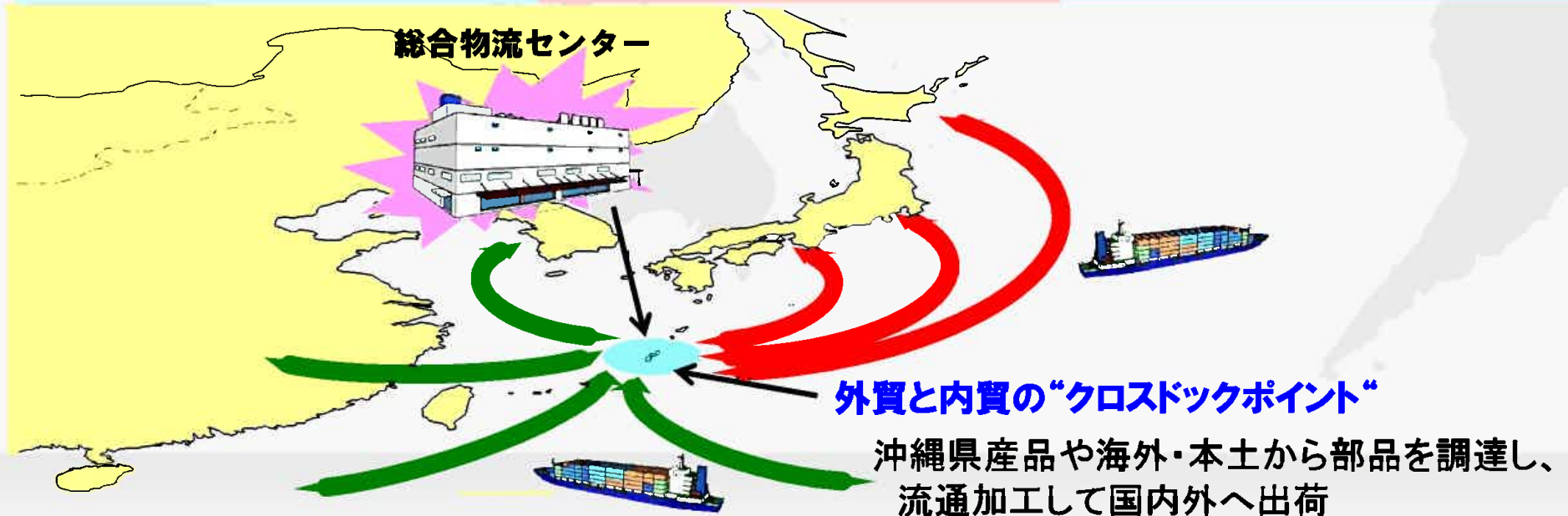
外貨コンテナ船
航空機

● 物流効率化機能

● 価値付加機能

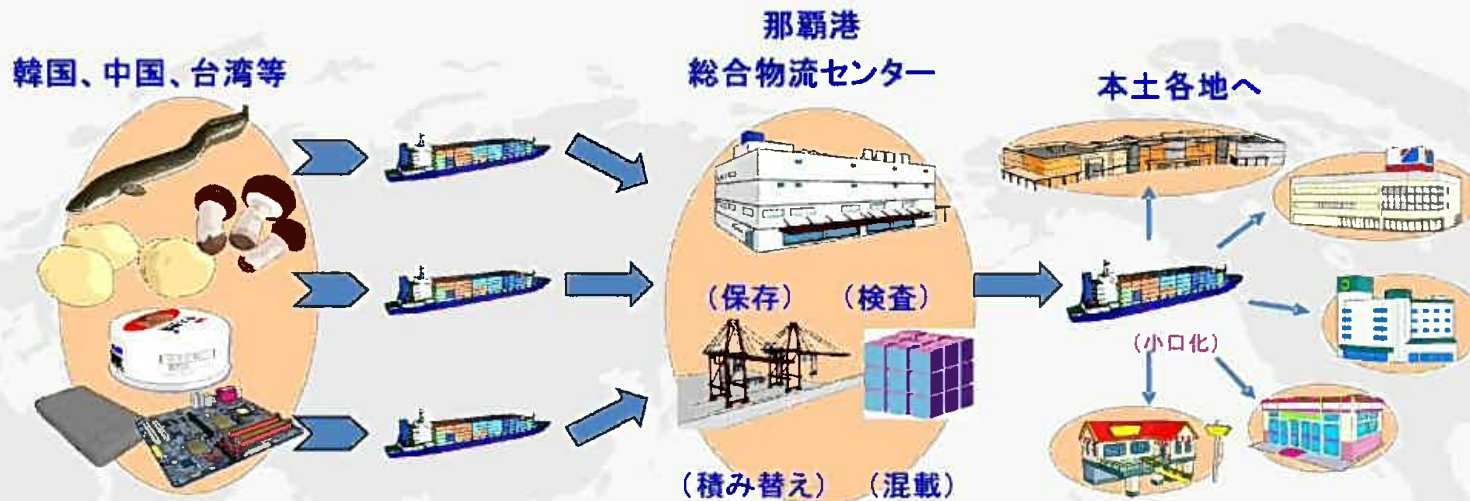
【国内輸送】

内貨定期船
トラック、航空機

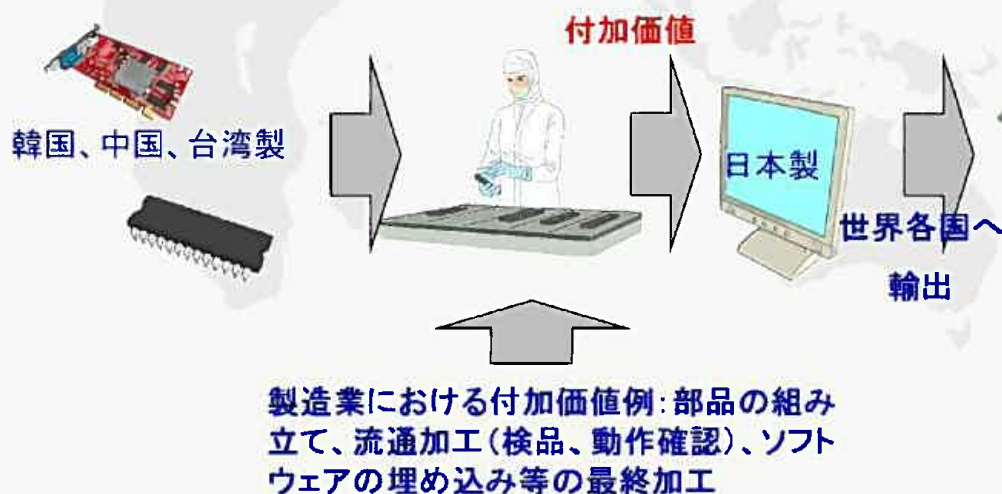


[那覇港総合物流センターの導入機能のイメージ]

①従来型物流の高度化:保管、積み替え、検査、混載



②メイドインジャパン製品等による販路拡大・経済活性化拠点



沖縄で考えられる例……

- 電動ミニバイクや太陽光発電パネル機器:
海外で生産した部品と、県産品を組みわせ、日本製として国内外に販売
- 化粧品(コスメ):モズク等を原料とした県産品の化粧水を、海外で生産した特殊な容器に詰め、日本製として国内外に販売。
- 加工食品:輸入した原料に、黒糖やシークワサー等の県産品をブレンドした食品や、県産品の牛・豚のスライス製品を国内外に販売

当地区に上記のような組立加工企業を誘致するため、各種優遇制度を活用できる“国際物流拠点産業集積地域”に指定

〔那覇港総合物流センター入居企業への優遇措置〕

① 指定について

- “那覇港総合物流センター” の建設予定地は、沖縄振興特別措置法第42条第2項の規定に基づく「**国際物流拠点産業集積地域**」に含まれる。
- “国際物流拠点産業集積地域” は立地企業の増加や貿易振興のために指定するものである。立地企業には、様々な優遇措置がある。
 - 国税・地方税の優遇措置
 - 関税の優遇措置
- また、“国際物流拠点産業集積地域”指定による優遇措置ではないが、沖縄県においては人材確保・人材育成に対する助成がある。
 - 沖縄若年者雇用奨励金等の助成 他
- “那覇港総合物流センター” にテナント入居した企業を想定し、そのメリットを整理する。
(本検討は制度紹介を主たる目的としており、助成金額等を保証するものではない)

② 企業の想定

想定企業A社の概要

項目	内容	備考
住所	沖縄県那覇市港町	総合物流センター内
業種	製造業	
資本金	1,000万円	
従業員	25人	新規採用(35歳未満)は20人
投資規模	3億円	加工機械、梱包機械購入
売上高	2億円	
経常利益	1,000万円(利益率5%)	



- ・総合物流センターにテナント入居し、原料輸入→加工→梱包→出荷を行う
- ・製品単価:2000円/個、販売個数:10万個
- ・2000円×10万個＝売上2億円

③ 優遇制度の試算結果

I. 法人税の所得控除(国税)

地域内への新設法人(15名以上雇用)への
10年間の法人課税所得40%控除

- 売上高 2億円
- 経常利益 1千万円 (利益率5%)



	所得控除	課税対象	税率	所得税
優遇措置なし	なし	1000万円	25.5%	255万円
優遇措置あり	40%	600万円	25.5%	153万円
		差額		102万円

※「法人税の投資税額控除」、「特別償却」を含めた
3制度から選択式

III. 沖縄若年者雇用促進奨励金

沖縄県に在住する35歳未満の者を3人以上雇用した事業主
に対し、賃金の一部を助成
支給額：1人につき最大120万円

給与の4分の1 (中小企業事業主の場合は1/3)
・最長2年間

- 雇用人数 20人
- 基準給与 185万円/人・・・1/3の61万円が助成対象

	対象人数	助成額	助成額合計
支援措置なし	—	—	—
支援措置あり	20人	61万円	1220万円
		助成額	1220万円



II. 法人事業税の課税免除(地方税)

1,000万円を超える設備投資を行った場合、**法人事業税が5
年間一部(総従業員に占める新增設設備に従事する職員の
割合) 課税免除**

- 資本金 1千万円
- 設備投資 3億円
- 総従業員に占める新增設設備従事割合 100%



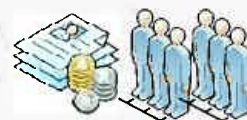
	課税対象	税率	事業税
優遇措置なし	1000万円	2.7~5.3%	37万円
優遇措置あり	1000万円	免除	
		差額	37万円

税率は課税対象の金額区分ごとに異なる

IV. 地域就職者雇用奨励金

雇用開発促進地域(県内全域該当)に居住する求職者3人以上
を雇用
支給額：一定額(40~900万円/年)を支給(3年間)

- 設備投資 3億円
- 雇用人数 20人



設置・整備に 要した費用	対象労働者の数			
	3~4人	5~9人	10~19人	20人以上
300万円以上 1,000万円未満	40万円	65万円	90万円	120万円
1,000万円以上 5,000万円未満	180万円	300万円	420万円	540万円
5,000万円以上	300万円	500万円	700万円	900万円

優遇制度の適用による経費削減効果

①~④の経費削減効果
の合計は、
2259万円(初年度1年
間)となる。

投資3億円に対して約
7.5%の経費削減効果

優遇措置等の種類	削減額
①法人税の所得控除(国税)	102万円
②法人事業税の課税免除(地方税)	37万円
③沖縄若年者雇用促進奨励金	1220万円
④地域就職者雇用奨励金	900万円
合計	2259万円

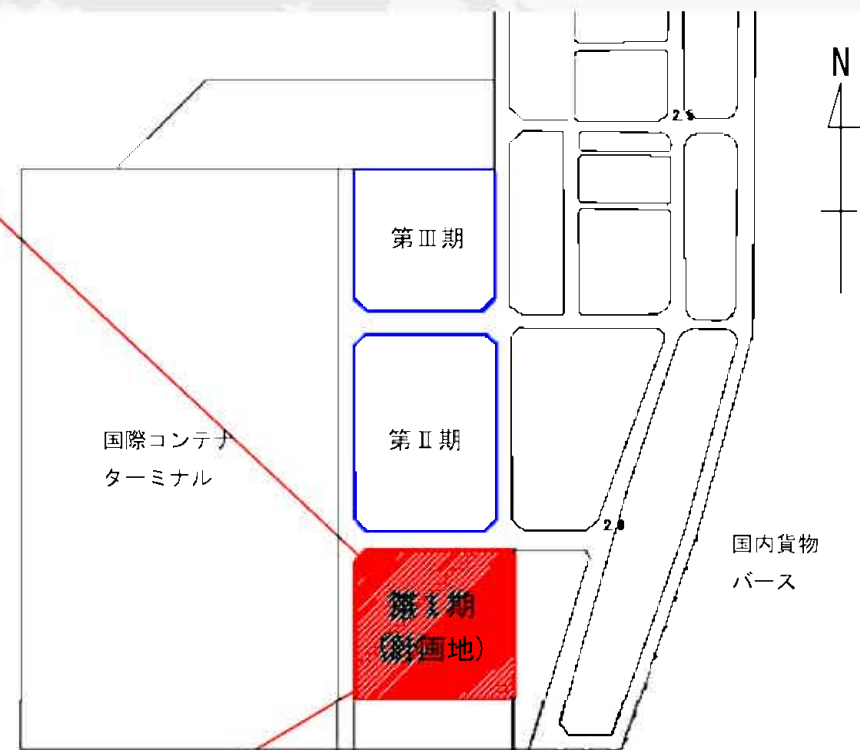
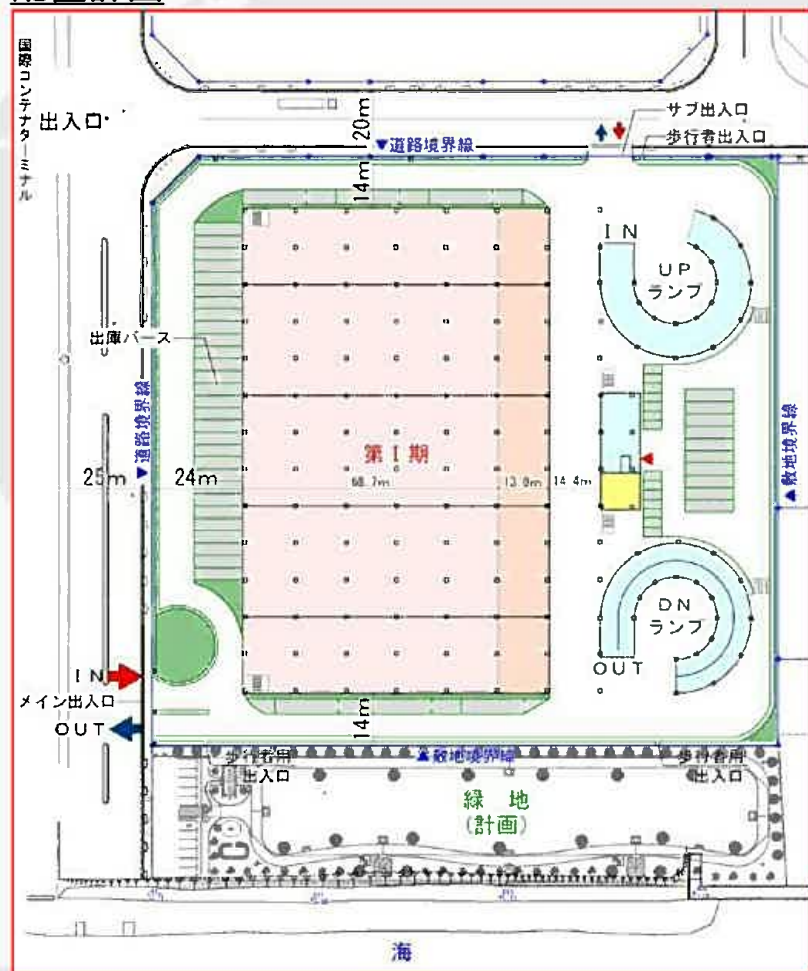
V. 関税の優遇措置

選択課税	特定の品目を除き、原料課税か製品課税かを選択できる。
保税許可手数料の軽減	保税蔵置場等の許可手数料が1/2に軽減される。

[参考:那覇港総合物流センター配置計画(案)]

- ・西側に幅員25mの臨港道路、北側に幅員20mのふ頭内道路に接し南側は緑地(計画)を挟み海に面している約2.6haの敷地です。
- ・敷地四方に幅員約6mの周回できる敷地内通路を配置しました。また、歩道も設置し歩車道を分け、安全に利用できるように計画を行っています。
- ・敷地境界沿いには、緑地帯を設け、周辺環境に考慮した計画を行っています。
- ・敷地東側に上がり専用ランプウェイと下り専用ランプウェイを配置し、安全な動線計画を行っています。

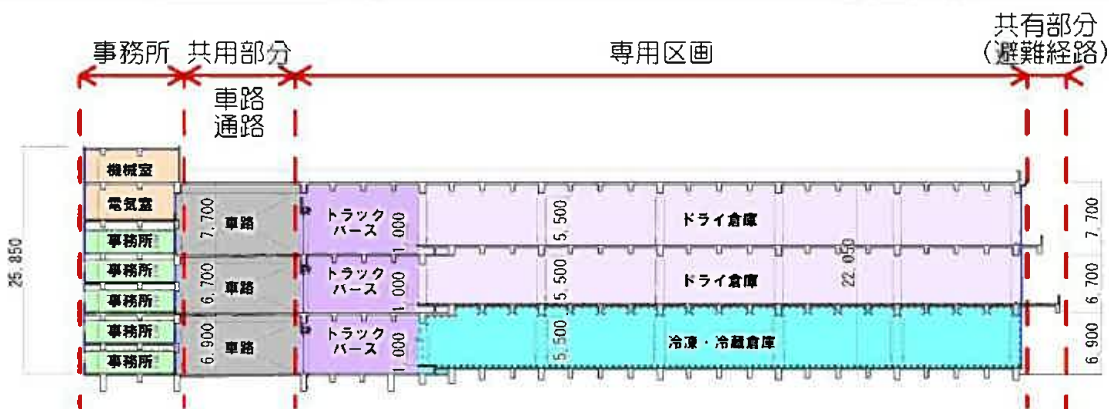
配置計画



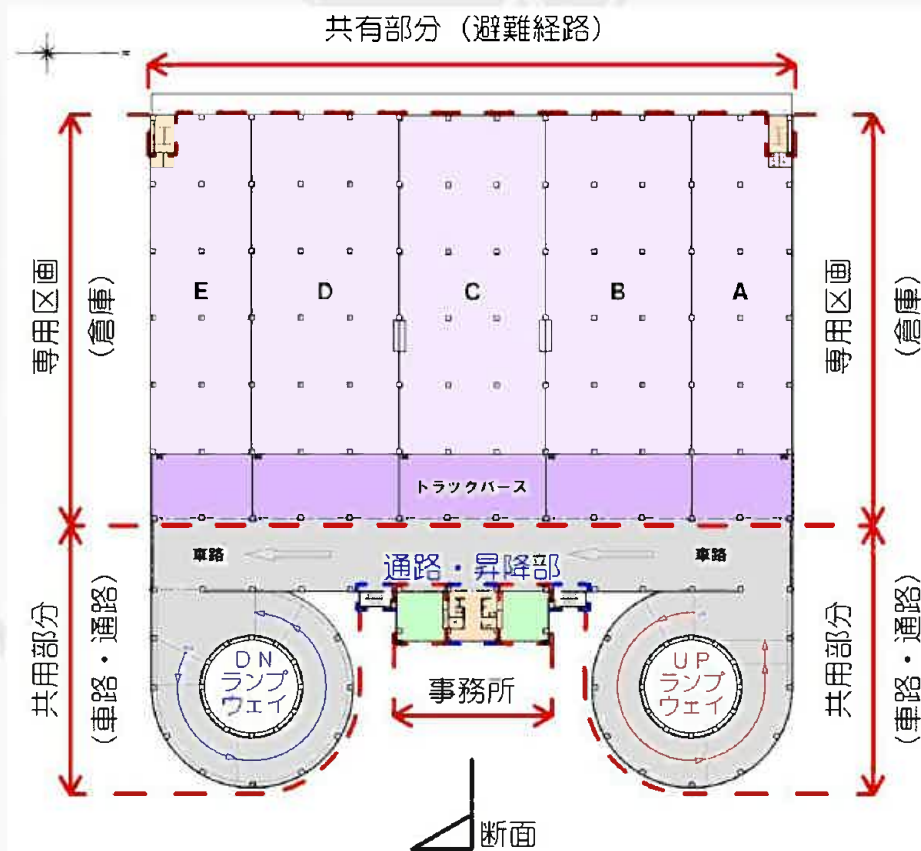
※当該図面は基本設計にて作成したものであり、今後実施する
詳細設計で若干の変更はあり得る。

[参考:那覇港総合物流センター建築構造(案)]

- ・ 物流施設の専用区画について、ゾーニングは1階部分を冷凍・冷蔵倉庫とし、2・3階部分についてはドライ倉庫とします。
- ・ ランプウェイ及び車路を挟んで専用区画と事務所部分を配置します。
- ・ メインの昇降部は事務所部分に設け、その他にも避難用の階段を建物の4か所に設ける事により、2方向避難を確立します。
- ・ 各区画内の内装や設備機器の整備については必要最小限のものとしており、入居者の使い方に合わせて整備をして頂く、いわゆる“スケルトン貸し”を想定しています。冷凍・冷蔵施設に必要な設備等についても同様に入居者により整備して頂きます。



断面計画



平面計画

※当該図面は基本設計にて作成したものであり、今後実施する詳細設計で若干の変更はあり得る。